

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム敬愛
日付	平成18年2月10日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 介護支援専門員歴5年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など) ・ホームは新興住宅地の中に開設され、近くに公園やスーパー、病院があり、良い立地条件を活かしながら地域に溶け込んだ取り組みがなされています。 ・法人代表者、管理者、ホーム長はじめ職員全体に熱意があり、それぞれ連携しながら積極的にホームのケアの質の向上に向け、取り組まれています。 ・9つの委員会が構成され(接遇・献立・医療・防災・行事・写真・修繕・事故対策・おしめ)、職員による特徴ある取り組みがされています。 ・食事は献立委員会が中心となり、職員の自慢料理や入居者の希望に応じ喜ばれるメニューづくりが行われています。 ・「敬愛新聞」の発行や入居者ごとの家族への手紙が送付され、近況報告が密に行なわれています。 ・行事の起案書が作成され、綿密な計画のもとに事業が組まれています。また、事業後の報告書も残されています。 ・昨年の要改善項目に積極的に取り組み、入居者へのサービスの質の向上に成果が見られました。
特に改善の余地があると思われる点 ・薬の管理について、扉のある棚などの保管場所と、確実な服薬確認の工夫について検討が必要ではないでしょうか。 ・申し送りの際の確実な情報伝達の確認の工夫について検討されてはいかがでしょうか。 ・管理者がグループホームの代表取締役として、かつ、同一敷地内の他の事業の事務長職の兼務をされています。管理者に専念できる体制を検討されているようですので、実現できますよう期待しています。

運営理念

番号	項目	目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有			
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。 ・「やさしい心」を大切に、をモットーに、職員の笑顔と高齢者への尊敬の気持ちを持って支援するように職員全体の意識統一がはかられています。 ・なにげない毎日の生活を大切に、体も心も動かして、生きている喜びを感じられるように入居者の生活をサポートすることをめざしています。 ・食べる喜びを大切にしています。 ・入居者の希望を大切にしたケアに取り組んでいます。 ・入居者のために、ホーム全体の取り組みとして家族との交流を大切に考えています。			

生活空間づくり

番号	項目	目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり			
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり			
4	建物の外周や空間の活用			
5	場所間違い等の防止策			
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。 ・入居者の傍に寄り添い、目を合わせて笑顔で話をしたり、肩や手を支えるなどのスキンシップを大切にしています。 ・入居者への呼びかけの際には、遠くから呼ぶのではなく、必ず近づいて静かに話しかけることを職員間で徹底しています。 ・職員自身の落ち着きが何より大切であり、大声をだしたり、慌ただしく動かないようにしています。 ・上記3点についても、接遇委員会の中で、常に検討されて職員全体で話し合っています。			

ケアサービス

番号	項目	目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映			
7	個別の記録			
8	確実な申し送り・情報伝達			
9	チームケアのための会議			
10	入居者一人ひとりの尊重			
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ			
12	入居者のペースの尊重			
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援			
14	一人でできることへの配慮			
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫			
16	食事を楽しむことのできる支援			

ケアサービス(つづき)

番号	項目	目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援			
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮			
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援			
20	プライドを大切にした整容の支援			
21	安眠の支援			
22	金銭管理と買物の支援			
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保			
24	身体機能の維持			
25	トラブルへの対応			
26	口腔内の清潔保持			
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応			
28	服薬の支援			
29	ホームに閉じこもらない生活の支援			
30	家族の訪問支援			
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。 ・できるだけ、今までの普通の生活に近づけるように、入居者一人ひとりのできることを大切にしています。 ・入居者尊重の観点から、接遇委員会を設けています。 ・トイレや脱衣場に内カーテンが設置され、プライバシー保護に取り組んでいます。 ・個人情報保護の観点から、面会簿を列記式から1枚ずつの記述に変更しました。 ・家族以外の第三者から入居者についての問い合わせなどがあつた時は、必ず家族に連絡をして即答しないようにしています。			

運営体制

番号	項目	目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映			
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ			
33	家族への日常の様子に関する情報提供			
34	地域との連携と交流促進			
35	ホーム機能の地域への還元			
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 ・サービスの質の向上に向けて、研修に参加した職員は会議などで報告し、他の職員に伝達し研修内容を共有するようにしています。 ・事故対策委員会が中心となり、事故報告をもとに原因の検証などを行ない、対応や対策を検討しています。(例えば、転倒の多かった入居者の居室に手すりを設置しました。)			